



プレスリリース

2012 年 3 月 30 日

日本 GE、被災地における新たな街づくりの早期実現に向け 宮城県仙台市に「復興支援・サステナブルシティ推進本部」を新設

日本 GE 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長兼 CEO：マーク・ノーボン、以下日本 GE）は、4 月 1 日付で、日本 GE 株式会社東北本社（宮城県仙台市青葉区一番町 2 丁目 1 番 1 号）に、東北における復興支援促進の拠点として「復興支援・サステナブルシティ推進本部」を開設いたします。被災地における新たな街づくりの早期実現に向け、弊社の総合的な技術、製品・サービス、そしてグローバル・ネットワークを活用し東北復興に貢献していきます。

日本 GE は 2009 年に開催した「GE Day in Miyagi」等における宮城県とのパートナーシップを通じ、環境と医療を重点的な取り組み分野として『サステナブルシティ（持続可能な街づくり）』の実現に向けた活動を推進してきました。また、東日本大震災以降は、GE の社会貢献組織「GE ファンデーション」を通じて、東北被災 3 県に四輪駆動の軽自動車のドクターカー「めんこい」11 台の寄贈、及び宮城県の県道 20 号仙台空港線に省エネルギー性の高い野外 LED 道路灯 95 本を設置するなど、被災 3 県における医療・交通インフラ整備を支援してきました。

復興支援・サステナブルシティ推進本部長に就任した北川裕明は、「東北に復興支援の拠点が新設され、東北における各自治体や地元企業等との緊密な連携の強化と地域住民のニーズをタイムリーに把握することが可能となります。ヘルスケアや環境・エネルギー、先端農業等、多岐にわたる分野において、GE の全社横断チームとの取組みを加速させて、復興支援事業のより一層の促進に向け尽力してまいります。」と述べています。

GE について

GE は、重要な課題の解決に取り組む企業です。優れた人材や最高のテクノロジーを活用し、エネルギー、ヘルスケア、ホーム、トランスポート（運輸）、金融サービスなどの分野で、困難な課題の解決に貢献しています。世界中のインフラやビジネス構築、電力供給、運輸、医療など様々な分野で GE の製品・サービスが使われています。私達は、イマジネーションだけでなく、「実行」する企業です。課題解決を行動に移す、それが GE の仕事です。日本における GE の事業・活動等については、<http://www.ge.com/jp/> をご覧下さい。

<本件に関するお問い合わせ>

日本 GE(株) コーポレート・コミュニケーション本部 03-3588-9500

日本 GE 広報代理 星、橋本、仲山 03-5427-7334(ウェーバー・シャンドウィック・ワールドワイド内)



<参考資料>

GE 東日本大震災被災地復興支援活動 概要

- GE ファンデーションによる寄付

GE の社会貢献組織である GE ファンデーションは、パートナー組織と協働で、米国および海外における災害救援活動や健康・医療、環境、政策、人権といった課題に取り組んでいます。

GE ファンデーションでは、宮城・岩手・福島の被災 3 県に、医療・交通インフラ整備を支援すると共に、同財団と GE 社員のマッチング ギフト（従業員による社会貢献目的の寄付に対して企業が同額の上乗せを行う寄付）により総額 1000 万ドル相当以上の寄付を行っています。

- 軽自動車のドクターカー「めんこい」寄贈

ドクターカーとは、消防と連携して緊急の場合に消防署からの連絡を受けて出動し、医師（ドクター）を運ぶ緊急自動車のことです。車内に十分な医療機器が装備されており、緊急時には医師による車内での診療が可能です。

被災地である三陸沿岸特有の狭い道や坂道も容易に走行可能な四輪駆動の軽自動車のドクターカー「めんこい」には、可搬式の超音波診断装置や心電計、生体情報モニター、骨密度測定装置などの医療機器が搭載されており、被災地域に点在する仮設住宅等への往診等においても、病院・診療所並みの医療機器を活用した診療が可能となります。

GE ファンデーションでは、宮城県に 5 台、岩手県に 3 台、福島県に 3 台、計 11 台の「めんこい」を寄贈しています。



右：村井嘉浩 宮城県知事／

左：マーク・ノーボン 日本 GE (株) 代表取締役社長兼 CEO
(撮影：2011 年 10 月 27 日、宮城県庁における寄贈式)



宮城県に寄贈した、ドクターカー「めんこい」



- 仙台空港線へ屋外 LED 照明の設置

LED 照明は、光源の特徴として、色の識別が容易であることに加え、必要な箇所に効率的に光を当てる事が可能なため、消費電力を大幅に削減でき、CO2 排出量の削減にもつながります。交通インフラの再生支援として、宮城県の仙台空港と国道 4 号を結ぶ県道 20 号仙台空港線（仙台空港から 2km までの地点）に道路灯として設置した屋外 LED 照明 95 本は、2011 年 10 月 1 日より点灯しています。



左：

LED 道路灯点灯時の県道 20 号仙台空港線の様子

（撮影：2011 年 10 月）

- 「GE ボランティア」を通じたボランティア活動

GE では、「教育」、「環境」、「地域開発」の 3 つの柱に基づいた社会貢献活動を全世界で推進しており、各事業や社員自ら企画したボランティア活動を行う組織 GE ボランティアを通して様々な活動に取り組んでいます。GE ボランティアによる活動で特徴的なものに、「地域に役立つ発明家になろう！プロジェクト」があります。GE 社員が小学校を訪れ、児童 5-6 名と社員 2-3 名がひとつのチームになって街を歩き、街の課題を見つけ、解決策を議論・発明し、クラスメイトに発表する、という一連の活動を行います。2011 年 11 月、石巻市立開北小学校において同プロジェクトを実施し、同小学校 6 年生児童 95 名、同教員の皆さんおよび GE 社員 38 名が参加しました。石巻の子どもたちがまとめた街づくりプランは、昨年 12 月に石巻市・亀山 紘市長に対し子供たちからプレゼンテーションされました。